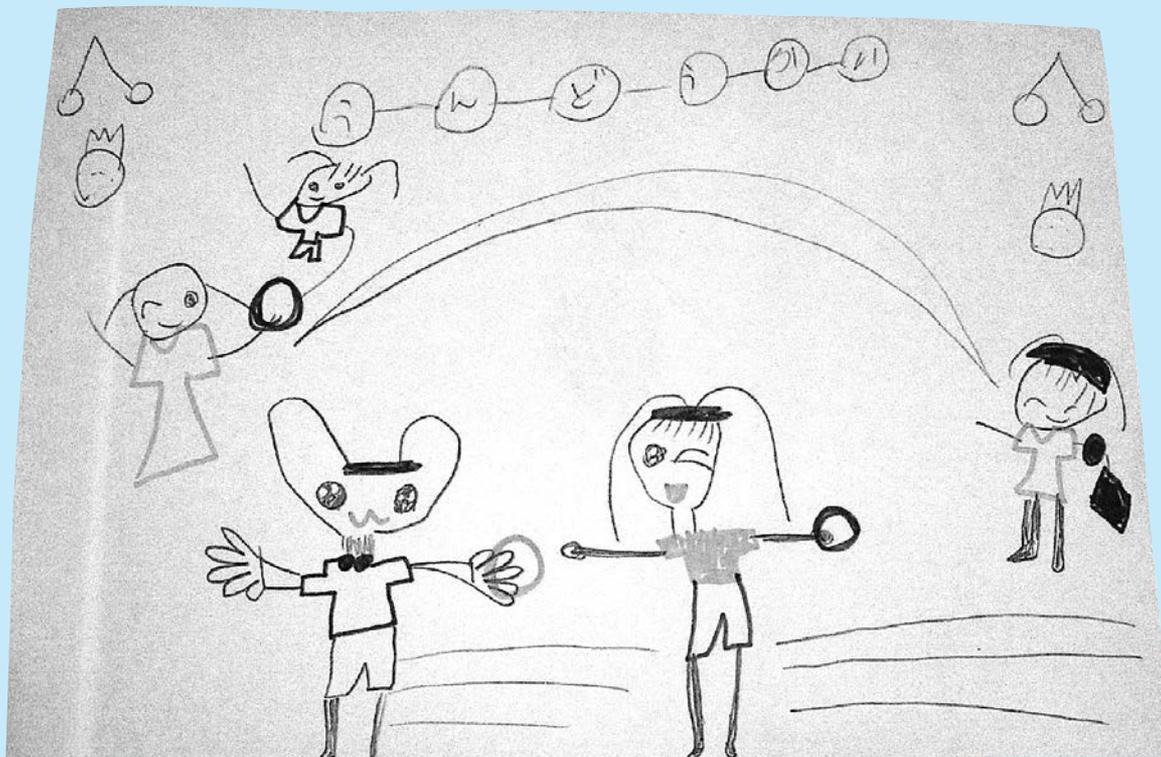


ファミリー family support サポート通信

手助けが欲しいあなたと手助けをしたいあなた
“困ったときはお互いさま”のネットワークを
このまちにひろげてみんなであわせに！

平成17年3月発行 第6号

1



(杏梨ちゃん 絵)

「運動会にこの旗をもって応援に来てね!」と、杏梨ちゃんは提供会員さんを運動会に誘いました。「ファミリーサポートの活動」から「日常のお付き合ひ」につながってゆくのはうれしいですね。

ファミリー・サポート・センターは「手助けが欲しい方(依頼会員)」と「手助けをしたい方(提供会員)」が、困ったときはお互い様の気持ちで「助け合う」会員組織です。日野市では「保育」「妊産婦」「家事」「高齢者」の援助を行っています。

保育援助を受けられるのは6ヶ月以上10歳未満のお子さんですが、6ヶ月未満の場合はお母さんと一緒の場合は活動できます。「子供をつれての外出が大変なので一緒に出かけて欲しい」、「たまには上の子と思いっきり遊んであげたいので、下の子を見守っていて欲しい」など、いろいろな依頼の仕方があります。ちょっとしたことでセンターへご相談ください。一緒に解決方法を考えましょう。

またこれから出産される方、不安な育児のスタートを、産前産後の家事や沐浴のお手伝いを依頼することで、提供会員さんとともに楽しく過しませんか？

「何かのお役にたてれば...」、提供会員さんはそんな思いで活動されています。お互いに大きな家族として地域で支えあってゆきましょう。

日野市ファミリー・サポート・センター

〒191-0062 日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館 2F

ひとりで悩まず困ったらまずお電話を tel&fax 042-589-7616

こんな活動やってます！

もっと頑張るぞ！

提供会員 倉島愛子さん



「愛子さん来てる？」玄関先で保育園から戻った元気なお兄ちゃんの声、嬉しくて思わず顔がほころぶ瞬間でした。3人目の赤ちゃんを出産されたお母様の夕食作りを中心にしたお手伝い。人様のお食事を私に作れるのだろうか？ という不安とプレッシャーの中、レシピやお母様のアドバイスを元に奮闘！

活動を終え帰宅した頃に（もっとああすればよかった・・・）と、自己嫌悪になりました。でも「おいしかったです」「ありがとう」といっていただく度、もっともっと頑張るぞ！ という意欲がわいてきました。とてもよい出会いになりました。

心をこめて 自然体で

提供会員 石原絹代さん

明日は可愛いお子さんをお預かりする日です。いつもの事ですが、我が家では夫をはじめ孫達も、そのお子さんの名前をいって盛り上がります。当日は私もちょっと緊張しながらも笑顔でお迎えします。初めてのお子さんでもここにこお迎えすればすぐに馴染んでいきます。長時間保育の場合は、私の生活の中にすっぽり包みこみ、ごく自然体で遊びやお話につき合います。折り紙の折り方は、私の方が教えてもらい喜びを表します。天気良ければ近くの公園で思いっきり遊びます。

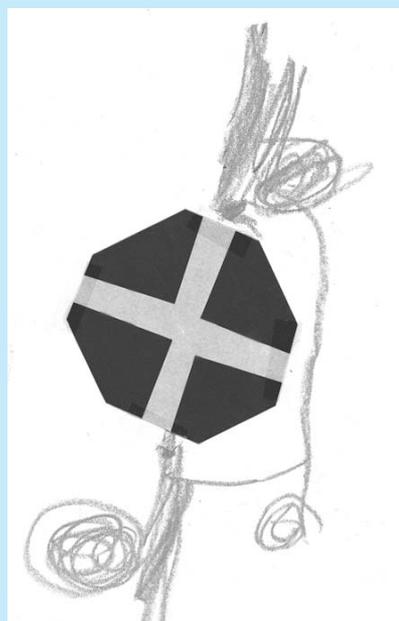
昼食やおやつタイムは、これまた楽しいひとときで、夫や孫も加わり賑やかにいただきます。どのお子さんでも同じで、お弁当は12時ピッタリ、おやつタイムは3時ピッタリ。子供の腹時計ってすごい!!

そろそろお母さんが帰る時間が近づくと「何時にお母さん帰ってくるの」と聞くのです。これもすごい勘時計だなと思います。そういう時は「あと1じかーん」といって時計の針を示して教えます。

さて、お母さんのお迎えの15分前になると、「もうすぐお母さんが帰って来ますよー。お片づけしようー」と声をかけます。するとその片づけ方の早いこと。遊具文具をチェックし、道路まで出て向こうからお母さんが来るのを待ちます。「お母さんおかえりー」「ただいまー」ととびついてすごいスキンシップ。この場面はどの子も皆同じです。そして一日無事保育を終えた私のホッとする瞬間です。この一瞬に喜びを感じ、保育のお手伝いをしています。「もっと遊んでいたーい」と必ずいうのですが、今日はさよならです。お子さんはただ預けられているのではなく、お母さんのお仕事のお

手伝いをしていることになるのです。このことは初めのうちにお子さんにお話します。「お母さんはいいお仕事している、すごいね、えらーい。でも、おばちゃんここで留守番している子も偉いよー。」という、「うふふ」とか「そうだよー」とか言って満足げです。

あるお子さんは2才半でしたが、来るとすぐズボンを脱いでおむつだけで遊んでいました。夕食時「じいじの」といって夫のお茶をゴクゴク飲み、我が家の妻ごはんに大人のふりかけをかけてタップリ食べたのでした。帰ってきたお母さんが、すっかりうちとけているお子さんをみて大感激されたのを覚えています。この様なお子さんの姿をみると子育ては自然体がよろしかろうと思います。情に溺れることなく、一人一人に心を込めることで、信頼される保育が出来るのだと思います。



菜ちゃんがオリガミで作ったアサガオ。



提供会員対象

保育サービス講習会実施報告

昨年6月から2月まで3回に分けて、提供会員として登録された方を対象に、保育サービス講習会を実施しました。この講座は保育支援を頼みたい人が安心して依頼できるように、保育支援者を養成することを目的としています。

今年度の受講生91名のうち26名の方が全課程を修了しました。修了された方には、厚生労働省から当事業支援を委託されている（財）女性労働協会より修了証書が交付されました。全講座を受講されていない方は、来年度の講座を受講していただきますと修了書が発行されます。

来年度の日程等については、6月・11月・1月ごろの3回を予定しています。会員の方には通信でお知らせいたします。よりよい活動を目指して今後も講習会を実施していきます。



今年度実施した講座内容

- ・ 保育の心・育児の支援者として
- ・ 心の発達 子供とは・発達を援助する
- ・ 食事について
- ・ 子供の世話・いまどきの育児
- ・ 心の発達・扱いにくい子ども
- ・ 身体の発達と心の発達
- ・ 遊びについて
- ・ 健康な子供・異常所見とその対応
- ・ 救命救急講座

ファミサポ

Q&A

Q

会員登録をして一年になりますが、まだ一度も依頼がありません。

A

活動の流れとして、依頼会員さんからセンターへ依頼があった時、いつ・どこで・何をと依頼内容を細かくお聞きし、要望に沿って出来るだけ地理的に近い提供会員さんをご紹介することになっています。提供会員・依頼会員さんともに地域に片よがりがあり、せっかく登録を頂いてもお願いする機会がすくないときもあります。依頼は急なことも多く、一人でも多くの提供会員さんの登録が貴重になってきます。今後、地域ごとの援助活動が活発になるよういろいろ工夫していきます。これからもよろしくお祈りします。

❗ 健康チェックをしましょう。

みなさん、健康診断を受けていますか？ 日野市でも各種検診を実施しています。

4月1日号の広報に健康診断や予防接種の年間予定が載ります。特に提供会員さんは積極的に受診して、日頃から自分の健康に気をつけましょう。

交流会の報告

2月8日に多摩平の森ふれあい館にて交流会が行われ、お豆腐を使ったお菓子を、提供会員の根来敬子さんから教えていただきました。根来さんはファミリーサポートの活動以外にも、ハンディキャップのある方の昼食やおやつ作りのボランティア活動を個人的に10余年もなさってきたお料理のベテランです。

「久しぶりですね」「お元気でしたか」と、近況を伝え合う声や「始めまして」と自己紹介の挨拶がはじまる中、お菓子作りがスタートしました。「春色スイーツ 食べたいときが作りどき」のタイトル通り、季節を先取りしたような甘い甘い春色の香りが広がりました。

和風と洋風の一品一品が出来上がるたびに、思わず「ワー美味しそう」の声。寒い日にぴったりの生姜シロップに浮かべた白玉団子や、チーズケーキなどの出来上がったお菓子を美味しくいただきながら、活動への思いや日々感じていることなどが語られ、気持ちも身体もホッとするひと時の満たされた交流会でした。



参加者の声

お菓子作りは初めてなので勉強になりました。保育支援で「何か作りたい」と言われ困っていましたが、おやつ作りは一緒に楽しんで出来そうです。今日のお菓子は簡単でその上美味しく、参加してよかったです。

遠くに住んでいる孫にはめったに会えないし、活動で定期的に入っていると、その子の方が可愛く思えてくるのよ、不思議ね。

何か人のお役に立ちたいと参加し、活動した保育支援で、気がつくとなんげな子どもに慰められていたり、かえって元気をもらっている自分に気がつきました。

今後も交流会を企画してゆきます。まだ活動・依頼したことのない会員さんの参加もお待ちしています。当日のレシピが欲しい方は事務局までご連絡を。また交流会や通信の楽しい企画をサポートして下さるボランティアを募集しています。ふるってご応募ください。会員の皆様の声をどんどん取り入れていきたいと思ひます。

私たちは、このような援助活動を行っています



高齢者



妊産婦



家事



保育



会員募集中！

TEL& FAX 042-589-7616

日野市ファミリー・サポート・センター

〒191-0062 日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館 2階
開所時間 月曜～金曜 午前8時半～午後5時まで
(土日・祝日・年末年始はおやすみ)

受託/NPO法人 市民サポートセンター日野

